

【人材の養成に関する目的】

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

■法学部

個人の権利並びに社会及び組織の円滑な活動を保障する法と政治の実現に寄与することを理念とし、法と政治に関する専門的な知識を与えるとともに、それを通じて社会科学的な思考力及び合理的な判断力を持った国際感覚豊かな人材を養成することを目的とする。

■法律学科

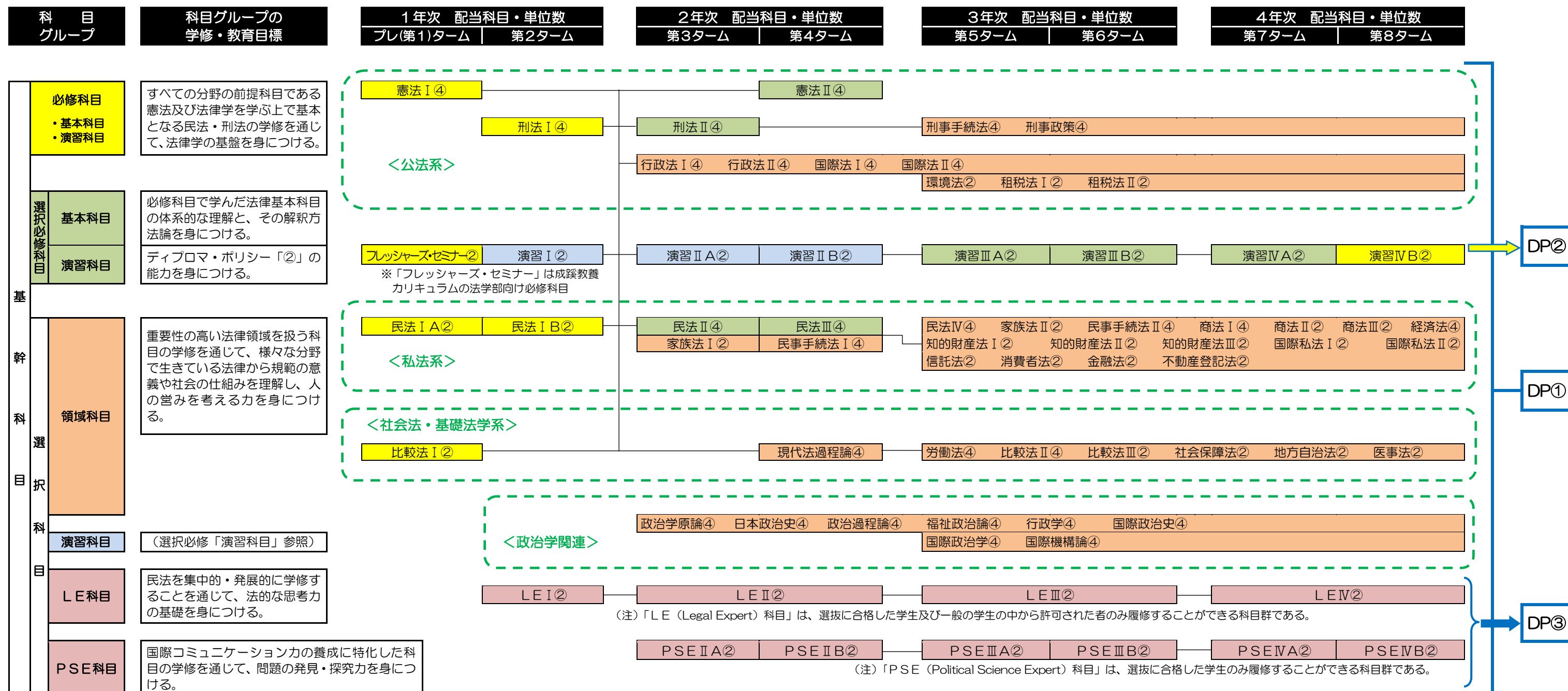
主として実定法及びその解釈に関する学修を通じて、法の現状及び問題点について深い考察力を持ち、個人の権利の保障に配慮しながら個人間又は集団間の利害調整及び紛争解決に寄与できるようなリーガルマインド及びリーダーシップを持った人材を養成することを目的とする。

法学部では、カリキュラムの履修について懇切な指導をするとともに、それぞれの科目についてはレポート提出や定期試験等の総合的かつ厳正な評価に基づいて単位の修得を認めることによって、学部の人材養成方針にかなうよう卒業生の質の確保に努めている。このもとで、法と政治に関する学修を通じて培ってきた社会科学的な思考力及び合理的な判断力を持ち、また、国際的・地域的な多様性の理解に基づき、次に掲げるような基本的な資質を身につけ、現実に行き起している諸問題を論理的に分析する能力及び課題を発見し解決する能力を修得した学生に、学士（法学）の学位を授与する。

- ① 法学について体系的・専門的な知識を修得するとともに、リーガルマインド（法的思考力・判断力）を持ち、様々な利害や価値観の対立を公正な視点から分析し、解決する能力を身につけている。
- ② 各年次に配当された「演習」を通じて、批判的・論理的思考力、課題探究・問題解決力、コミュニケーション力などを身につけ、価値観が多様化する現代社会において、柔軟かつ合理的に法的思考力を発揮することができる。
- ③ 選抜制の「LE科目」の履修生は、民法を集中的・発展的に学修することを通じて、法的な思考力を身につけている。また、選抜制の「PSE科目」の履修生は、国際コミュニケーション力の養成に特化した科目の学修を通じて、問題の発見・探究力を身につけている。

※ 教養科目については、「成蹊教養カリキュラム：当該学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

※ 科目グループの色と同じ色を付している科目は、当該科目グループに配当されている科目であることを表す。



科目グループ	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
		プレ(第1)ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
基幹科目	法律発展			外国法研究Ⅰ② 外国法研究Ⅱ②		西洋法制史Ⅰ② 西洋法制史Ⅱ② 日本法制史Ⅰ② 日本法制史Ⅱ② 外国法研究Ⅲ④ 外国法研究Ⅳ④			
	法律・特殊講義	特定の法的トピックを取り上げ、深く研究することにより、高い法的知識を身につける。		公法特殊講義Ⅰ② 民法特殊講義Ⅰ② 刑事法特殊講義Ⅰ② 公法特殊講義Ⅱ② 民法特殊講義Ⅱ② 刑事法特殊講義Ⅱ② 公法特殊講義Ⅲ② 民法特殊講義Ⅲ② 刑事法特殊講義Ⅲ②					
関連科目	政治	現代社会で法律と密接不可分である政治学の基礎的・発展的な科目及び経済学の基礎的な科目の学修を通じて、社会科学的な思考力及び合理的な判断力を身につける。		現代日本の行政② 政治思想の基礎② 比較政治経済② 現代の国際関係② 現代東アジア政治論② 現代ヨーロッパ政治論②		西洋政治思想史④ 財政学④ 政治心理学④ 西洋政治史④ 東洋政治史④ 現代政治理論④ 政治とジェンダー④ アメリカ政治外交論④ 中国政治外交論④ EU政治論④ 平和研究④ 東南アジア政治社会論④ 政治学特殊講義Ⅰ② 政治学特殊講義Ⅱ② ラテンアメリカ政治社会論④ オセアニア政治社会論④ 中東政治社会論④ 日本政治思想史④ 文化の政治学④ 地方自治論④ メディアと政治④ 政治学特殊講義Ⅲ② 政治学特殊講義Ⅳ②			
	経済			国際経済Ⅰ② 国際経済Ⅱ② 経済発展Ⅰ② 経済発展Ⅱ② ミクロ経済学基礎② マクロ経済学基礎② 近代日本経済史② 現代日本経済史② 経済史総論Ⅰ② 経済史総論Ⅱ②					
	社会・文化	(留学単位認定科目)		外国の社会と文化Ⅰ② 外国の社会と文化Ⅱ② 外国の社会と文化Ⅲ②					
	教養科目	法学の学修に密接に関連し、複数の外国語とそれを支える文化を学ぶことで、幅広い教養と国際感覚を身につける。		社会科学と論理④ 健康政策論② 情報検定Ⅰ② 情報検定Ⅱ② 語学検定Ⅰ② 語学検定Ⅱ② 語学検定Ⅲ② 海外研修C② 海外研修D② 海外研修E② 海外研修F② 海外研修G② 海外研修H②		文化演習(英語圏)Ⅰ② 文化演習(英語圏)Ⅱ② 文化演習(英語圏)Ⅲ② 文化演習(英語圏)Ⅳ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅰ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅱ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅲ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅳ② 文化演習(フランス語圏)Ⅰ② 文化演習(フランス語圏)Ⅱ② 文化演習(フランス語圏)Ⅲ② 文化演習(フランス語圏)Ⅳ② 文化演習(中国語圏)Ⅰ② 文化演習(中国語圏)Ⅱ② 文化演習(中国語圏)Ⅲ② 文化演習(中国語圏)Ⅳ②			
	成蹊国際コース	体系的なコース科目の履修を通じて、自ら問題点を見つけ、解決策を積極的に提言し、それを異なる文化的背景を持つ人と共に実行する能力を発揮するための高度な英語力を身につけるとともに、グローバルな舞台に積極的に挑戦し、先導的に活躍することのできるリーダーシップを兼ね備える。		Independent Study Ⅰ② Independent Study Ⅱ② Independent Study Ⅲ②		Academic Listening② Cross Cultural Communication Skills② Discussion & Presentation② English for the Work Place② Essay Writing② Intensive Reading②			
広域基礎科目	(教職課程科目)		日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ② 世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学② 地誌学②						

【人材の養成に関する目的】

【ディプロマ・ポリシー (DP)】

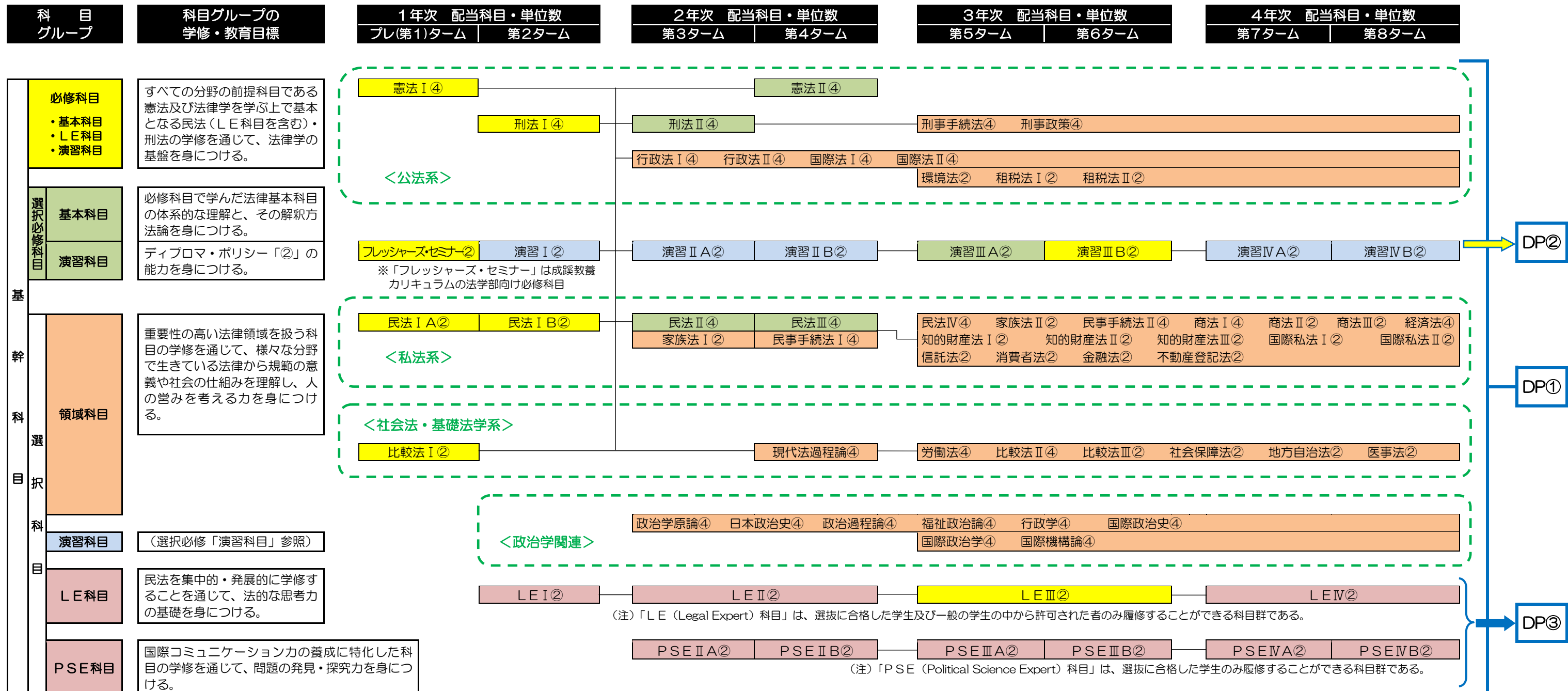
■法学部
個人の権利並びに社会及び組織の円滑な活動を保障する法と政治の実現に寄与することを理念とし、法と政治に関する専門的な知識を与えるとともに、それを通じて社会科学的な思考力及び合理的な判断力を持った国際感覚豊かな人材を養成することを目的とする。

■法律学科
主として実定法及びその解釈に関する学修を通じて、法の現状及び問題点について深い考察力を持ち、個人の権利の保障に配慮しながら個人間又は集団間の利害調整及び紛争解決に寄与できるようなリーガルマインド及びリーダーシップを持った人材を養成することを目的とする。

法学部では、カリキュラムの履修について懇切な指導をするとともに、それぞれの科目についてはレポート提出や定期試験等の総合的かつ厳正な評価に基づいて単位の修得を認めることによって、学部の人材養成方針にかなうよう卒業生の質の確保に努めている。
このもとで、法と政治に関する学修を通じて培ってきた社会科学的な思考力及び合理的な判断力を持ち、また、国際的・地域的な多様性の理解に基づき、次に掲げるような基本的な資質を身につけ、現実には起きている諸問題を論理的に分析する能力及び課題を発見し解決する能力を修得した学生に、学士(法学)の学位を授与する。

- ① 法学について体系的・専門的な知識を修得するとともに、リーガルマインド(法的思考力・判断力)を持ち、様々な利害や価値観の対立を公正な視点から分析し、解決する能力を身につけている。
- ② 各年次に配当された「演習」を通じて、批判的・論理的思考力、課題探究・問題解決力、コミュニケーション力などを身につけ、価値観が多様化する現代社会において、柔軟かつ合理的に法的思考力を発揮することができる。
- ③ 選抜制の「LE科目」の履修生は、民法を集中的・発展的に学修することを通じて、法的な思考力を身につけている。また、選抜制の「PSE科目」の履修生は、国際コミュニケーション力の養成に特化した科目の学修を通じて、問題の発見・探究力を身につけている。

※ 教養科目については、「成蹊教養カリキュラム:当該学修・教育目標(科目グループ別カリキュラム・フロー)」を参照。
※ 科目グループの色と同じ色を付している科目は、当該科目グループに配当されている科目であることを表す。



科目グループ	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
		プレ(第1)ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
基幹科目	法律発展			外国法研究Ⅰ② 外国法研究Ⅱ②		西洋法制史Ⅰ② 西洋法制史Ⅱ② 日本法制史Ⅰ② 日本法制史Ⅱ② 外国法研究Ⅲ④ 外国法研究Ⅳ④			
	法律・特殊講義	特定の法的トピックを取り上げ、深く研究することにより、高い法的知識を身につける。		公法特殊講義Ⅰ② 民法特殊講義Ⅰ② 刑法特殊講義Ⅰ② 公法特殊講義Ⅱ② 民法特殊講義Ⅱ② 刑法特殊講義Ⅱ② 公法特殊講義Ⅲ② 民法特殊講義Ⅲ② 刑法特殊講義Ⅲ②					
関連科目	政治	現代社会で法律と密接不可分である政治学の基礎的・発展的な科目及び経済学の基礎的な科目の学修を通じて、社会科学的な思考力及び合理的な判断力を身につける。		現代日本の行政② 政治思想の基礎② 比較政治経済② 現代の国際関係② 現代東アジア政治論② 現代ヨーロッパ政治論②		西洋政治思想史④ 財政学④ 政治心理学④ 西洋政治史④ 東洋政治史④ 現代政治理論④ 政治とジェンダー④ アメリカ政治外交論④ 中国政治外交論④ EU政治論④ 平和研究④ 東南アジア政治社会論④ 政治学特殊講義Ⅰ② 政治学特殊講義Ⅱ② ラテンアメリカ政治社会論④ オセアニア政治社会論④ 中東政治社会論④ 日本政治思想史④ 文化の政治学④ 地方自治論④ メディアと政治④ 政治学特殊講義Ⅲ② 政治学特殊講義Ⅳ②			
	経済			国際経済Ⅰ② 国際経済Ⅱ② 経済発展Ⅰ② 経済発展Ⅱ② ミクロ経済学基礎② マクロ経済学基礎② 近代日本経済史② 現代日本経済史② 経済史総論Ⅰ② 経済史総論Ⅱ②					
	社会・文化	(留学単位認定科目)		外国の社会と文化Ⅰ② 外国の社会と文化Ⅱ② 外国の社会と文化Ⅲ②					
	教養科目	法学の学修に密接に関連し、複数の外国語とそれを支える文化を学ぶことで、幅広い教養と国際感覚を身につける。		社会科学と論理④ 健康政策論② 情報検定Ⅰ② 情報検定Ⅱ② 語学検定Ⅰ② 語学検定Ⅱ② 語学検定Ⅲ② 海外研修C② 海外研修D② 海外研修E② 海外研修F② 海外研修G② 海外研修H②		文化演習(英語圏)Ⅰ② 文化演習(英語圏)Ⅱ② 文化演習(英語圏)Ⅲ② 文化演習(英語圏)Ⅳ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅰ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅱ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅲ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅳ② 文化演習(フランス語圏)Ⅰ② 文化演習(フランス語圏)Ⅱ② 文化演習(フランス語圏)Ⅲ② 文化演習(フランス語圏)Ⅳ② 文化演習(中国語圏)Ⅰ② 文化演習(中国語圏)Ⅱ② 文化演習(中国語圏)Ⅲ② 文化演習(中国語圏)Ⅳ②			
科目	成蹊国際コース	体系的なコース科目の履修を通じて、自ら問題点を見つけ、解決策を積極的に提言し、それを異なる文化的背景を持つ人と共に実行する能力を発揮するための高度な英語力を身につけるとともに、グローバルな舞台に積極的に挑戦し、先導的に活躍することのできるリーダーシップを兼ね備える。		Independent StudyⅠ② Independent StudyⅡ② Independent StudyⅢ②		Academic Listening② Cross Cultural Communication Skills② Discussion & Presentation② English for the Work Place② Essay Writing② Intensive Reading②		<Diversity> Global Perspectives② <Culture & History> Embracing Cultural Diversity② History and the World② International Societies and Representation of "Others"② Regional Studies Seminar② Seminar on Culture② <International Society> Current Topics② Exploring Media Literacy② Global Peace Studies② Global Values② Science and Technology in the World② World Politics in Comparative Perspective② <Language> Seminar on Communication Strategy A② Seminar on Communication Strategy B② World Englishes②	
	広域基礎科目	(教職課程科目)		日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ② 世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学② 地誌学②					